

平成20年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）
事後評価結果

研究課題名	多元融合領域の新物質相	研究代表者名 (所属・職)	北岡良雄（大阪 大学・大学院基 礎工学研究科・ 教授）
-------	-------------	------------------	--------------------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題の主目的は、多重環境下における精密物性測定技術を開発し、また、そのような物質を探索することにより、新物質相の発見とそれに関する知見を深めることである。物質作製と物性測定及び理論グループ間との緊密な連携が有効に機能しており、それを可能にした研究代表者のリーダーシップは高く評価できる。学術面においては、重い電子系において、従来は競合するものとみなされてきた磁性秩序相と超伝導相が協奏するという概念を前面に出し、それを様々な物質で実証したことは特筆できる。当グループは、本研究課題の開始以前から当該研究において数多くの成果を挙げてきたが、本研究課題においても期待通りの研究が進展したといえる。